



新型肺炎で思う、備える事の大切さ

新年度が始まりましたが、今年は入学式の規模や時間短縮・入社式もオンラインを使う等、例年とは違う形で行われています。12月に中国で発生した新型コロナウイルスは、4月に入っても勢いが衰えず長期戦の様相を呈しています。日常生活・企業活動にも大きな影響が出ていますが、今回の世界的流行で、備える事の大切さを改めて考えさせられました。

■ 火災保険

火事・台風・洪水・地震・津波等に備える事が出来ませんが、大規模地震対策特別措置法に基づく「警戒宣言」が出されてからでは、地震保険に新たに契約できなくなります。

何かあってから加入するは、通用しない場合があります。



■ 医療保険（入院の保障）

新型肺炎の罹患が判明してからでは、当然加入できません。しかし、既に加入済みの場合、コロナに関連した入院も支払いの対象になります。

また、医療保険に加入するには健康状態の申告が必要になり、健康診断や人間ドックで異常や経過観察など指摘を受けた後では、保険の加入に制限が付いたり、場合によっては加入が出来ない事もある為、何もないうちにしっかり準備しておく事が一番大切です。



■ 日常生活に関する事故

① 被害者になった場合…「弁護士費用特約」

訴訟や法律相談にかかる費用を補償

【例】車に跳ねられた。自動車事故で相手が100%過失だが、賠償してくれない。お店で食事して食中毒になった等

② 加害者になった場合…「日常生活賠償特約

(旧：個人賠償特約)」法律の賠償義務が発生した場合の賠償金

【例】自転車で人とぶつかり、ケガをさせてしまった。ボール遊びのボールを車に当ててしまった。洗濯機から水漏れしてしまい、マンション階下の部屋に水濡れ被害を与えた。飼い犬が訪問者にけがをさせた等

★相手が亡くなるような場合、賠償金が1億を超える事も珍しくなく、資金の準備と法律知識の相談先を確保する事は重要です。



■ 自動車保険



お車の盗難や事故による損傷、洪水による水没などの補償は「車両保険」を付けていないと対象になりません。特にローンで車を購入された場合など、車両保険に加入していないと補償が受けられなく最悪の場合、車は盗難され無くてもしっかりローンの支払いだけが残る事になります。また、保険使用する事故が続いた場合、保険会社から継続を拒否したり、条件が限定されるケースも有ります。その場合の相談先もしっかり考えた方が良いでしょう。

全て共通ですが、起きてしまってからでは、保険の加入は不可能です。

また、今回のような感染症流行の場合や大規模な災害に備えて、マスク・水・食料の備蓄が大切な事も改めて感じさせられました。資金面でもいざという時に備えて半年から1年分の生活費を貯蓄しておくことも、危機管理として大切な事です。

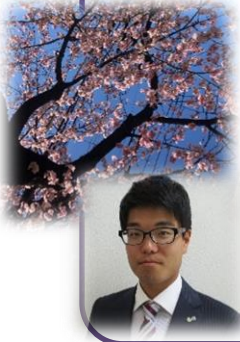


メンバー 近況報告

コロナの影響で…

岩瀬 英之

毎週のようにやっていたテニスですが、コートの利用が出来なく練習が行えない時や、参加予定だった試合の中止が相次ぎ、なかなかやれなくなっています。行える時でもマスクをしたり、ハイタッチはしないなど、基本的に2m以内には近づかないようにしていたりと、いろいろ対策を考えながら、たまにやっているような状況です。コートによっては利用時に検温が必要なところもあるそうです。



一人暮らしと言う事もあり、外食が多い生活をしていて、カロリーオーバーになっていますが、普段はテニスで体を動かす事により、かろうじて太らないようバランスが取れていました。でも、最近の運動不足によりお腹にお肉が付き始め、食生活が原因と自覚しているのですが、これもすべてはコロナの影響... ということにしています(笑)これからも部屋に籠っているとどんどん太っていきしまい悪循環になりそうなので、夜など人の少ない時間帯にダイエットも兼ねて、桜を見ながらランニングしようと思います。あと、今年は、お花見ができないので、事務所近くの愛知医大の桜を見に行きましたが、とてもきれいに咲いていました。

～沖縄旅行(後編)～

小川 とも子

4 日目はオキナワネオパークからスタートし、八重岳を經由して今帰仁城跡(なきじんじょうあと)の色の濃い緋寒桜がきれいに咲いているという情報をキャッチし、見学しました。その後古宇利大橋を渡りましたが、海がきれいで感動しました。5 日目は美ら海水族館に行き 24 年生存のジンベイザメを見て大きさにびっくり。帰りに瀬底島経路で奥間ビーチに行き散策し、ゆいゆい国頭道の駅で泊まりました。6 日目はやんばるツアーに参加して国頭の森を散策し、ノグチゲラ(鳥)の巣穴も教えてもらいました。それから最北の辺戸岬に行きましたが、ここは沖縄が本土復帰を願ってのろしを上げた場所とのことです。近くの大石林山は 2 億 5,000 万年の時間が刻んだ奇岩、巨石が林立し、亜熱帯の森が広がっているところです。ここを散策した後は「ヤンバルクイナ」の生態が観察できる施設に行きましたが、今まではマングースが敵だったのですが、今は野ウサギ、犬、猫が敵になっているとのことでした。7 日目は観光最終日で首里城の焼け跡を見て、糸満道の駅で早めの夕食を済ませました。ここは市場と道の駅が一緒になっていて食材には困らないところです。2 月 15 日の飛行機で無事帰宅。毎日ハードでしたが楽しい旅でした。



ヤンバルクイナ

娘の成長

毎日コロナ関連の情報が気になり、徐々に悪化していく中これからどうなるのか不安がつきまといまいます。世界中の都市封鎖の映像を見るとまるで映画の世界…こんなことが現実には起きているなんて…コロナウィルスがこんなにも脅威となるなんて誰が想像したでしょう。最初は、日本は外出禁止にならず、政府からも監視されず日本でよかったなと思いましたが、ついに感染拡大都市に緊急事態宣言が出ましたね。経済はどうなるのか…コロナの早期終息を願うばかりです。

一方、3 歳の娘は世の中の状況がわからないのでいつも通り元気いっぱい癒されます。この前はテレビで流れる Sexy Zone の「麒麟の子」の曲に合わせて強弱をつけ体全体を使って踊っている姿を見て表情も大人びていて 3 歳にして表現力のすごさに感動してしまいました。また、いつもは保育園で先生が来てくれないと別れられなかったのが 4 月から年少さんになって先生も変わり、大丈夫かなと心配していたのですが、初日から手でタッチしてバイバイしてくれ、頼もしくなった娘に成長を感じ感動しました。昨日できなかったことが今日できる、子供の成長は予想を超えますね。コロナが終息し制限なく過ごせる日が早く戻ってきてほしいです。

古川 友架

